インスブルックとザルツブルグを見学して

私たちは,ユーロスクールでさまざまな国を見学しましたが,その中でオーストリアのインスブルックとザルツブルグについて調べました。

インスブルック

まず、インスブルックではじめに訪れたのは、凱旋門でした。

フランスのではありません。

オーストリアの凱旋門です 笑）NO KANGAROO です。

その凱旋門ですが、マリアテレジアの息子の結婚を記念して作らせた門です。

しかしその最中に最愛の旦那さんが亡くなってしまいました。

そのために、門の南面には 生と幸福」が、北面には 死と悲しみ」が表現されています。

違いは微々たる物だった気がします 笑））

右上の写真はNO KANGAROO をモチーフにしたＴシャツ 笑）観光客の人にオーストラリアと間違われることがあったらしいので作ったらしいです。

次に黄金の小屋根を見学しました。

インスブルックのシンボルみたいなものですね。

まぁ黄金って言っても銅板に金メッキを塗っただけ・・・。

あぁっともう言えません。口が滑りました。

最後はチロリアンショーを見学しました。

出演の皆様テンションが高く、楽器とは程遠い物（ノコギリ等）まで

演奏してました。

ついでに木も斧で切っていて、

木片が客席に飛び散ってました

最後に各国の代表的な歌を歌って

ショーの幕を閉じました。

ちなみに日本の曲は

「幸せなら手をたたこう」でした。

♪Salzburg♪

ザルツブルグ

～モーツァルトの街からミラベル宮殿まで…。

ザルツブルグ州をめぐって～

Salzburg・Innsbruck MEMBER

石川　素・鵜飼　環・大山　りか・齋藤　沙紀・佐藤　大輔・

庄司　真人・鈴木　竜之介・谷口　智洋・山岸　桐子

ザルツブルグでの日程

モーツァルトの生家（ゲトライデガッセ）⇒ミラベル庭園⇒

ヘルブルン宮殿（水の楽園）⇒Sound of music の舞台見学

etc…　盛りだくさんの内容でした♪

見学地・紹介

【モーツァルトの生家】

ゲトライデガッセにあり、モーツァルトが使用していた楽器、直筆の楽譜などが展示されています。展示は３階と４階で１階はカフェになっています。モーツァルトは１７歳までここに住んでいました。かの有名なモーツァルトの***実際に***使った楽器、楽譜を見てもなんだか実感が湧きませんでした。私達にとってモーツァルトは幻の存在とも言え、本当にこういうのを使って練習したり楽譜を書いたりしていたのだなぁと思うとなんだか感激でした。けれど神童と言われたモーツァルトも至って普通の家に生まれたのだなぁと思いました。

【ミラベル宮殿・庭園】

ミラベルとは「美しい眺め」の意味で、その名の通り正面にホウエンザルツブルグ城を望む絶景が広がる美しい庭園です。私達が行った時は雨が降っていましたがパンフレットとはまた一味違う美しい庭を見る事ができたと思います。
☆サウンドオブミュージックの映画で「ドレミの歌」を歌っている場面に出てくる所です！

【ヘルブルン宮殿】

ここは大司教マルクス･シティクスのもとで１６１３年から１６１９年にかけて造られた夏の離宮です。初期バロック様式の宮殿鮮やかな黄色の外観が美しいです。この宮殿で面白いのは庭園の随所に見られる巧妙な水の仕掛けです。｢侯爵のテーブル｣などは客人が来た際に座らせて､椅子から水が出る仕掛けになっているのです。しかし､マルクス･シティクスの席だけは水の出ない仕掛けになっています。よって客人を
困らせて楽しんでいたようです。
「ネプチューンの洞窟」も色々な所から水が出る仕掛けで油断ができません。このような仕掛けを作った大司教マルクス・シティクスはよほど悪戯心があったものと思われます。皆、びしょびしょになりながらもとても盛り上がった
見学地でした♪

◇◆かんそう◇◆

雨が降っていたけれどみんなで楽しく行動することができて良かったです。ザルツブルグの町並みは歴史の面影を残した素晴らしい土地でした♪